

## 熊本地震 被災の子どもたちを富士山へ



募金した人に熊本の子どもたちを招待する企画のチラシを配るGW三島の渡辺専務理事(左から2番目)＝三島市で

今できること

熊本地震で被災した児童らを富士山に招待して心を元気にしてもらおうと、三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は21日、市内で募金活動を始めた。

「子どもを元気に富士山プロジェクト」という企画で、東日本大震災の後に始まり、5年間で被災地から2400人が訪れた。今回も2泊3日で三島の水辺や伊豆の温泉をまわり、

三島のNPO  
旅行を企画  
募金活動始める

富士登山を行って、子どもたちに笑顔を取り戻してもらおう。夏休みに1回当たり30人のツアーを予定し、計5回実施する。

募金の目標は1000万円。この日は、三島市芝本町の事務所前や近くの白滝公園で、GW三島職員が募金を呼び掛け、企画内容を記したチラシを配った。渡辺豊博専務理事は「東日本大震災の際は、避難生活で甘えることを我慢してストレスを抱え、体調が悪くなった子どもが多かった。富士山や三島での体験をストレスを外に出すきっかけにしてほしい」と話した。

問い合わせは、GW三島＝電055(983)0136＝へ。(山田晃史)